



市議会レポート

第4号

三原市議会議員

正田 洋一

“未来を考える”
“地域をもっと元気にする！”

発行者：正田洋一 三原市本町 2-11-12 正田洋一後援会事務所 TEL/FAX 0848-63-0085 発行責任者：正田洋一

kindness honesty truth fellowship future go ahead kindness honesty truth fellowship future go ahead kindness honesty truth fellowship future go ahead

今号で4回目の発行となりました。新市政で約1年、天満市長にとって初めての年度予算編成、新人議員の私にとって初めての年度予算審査となります。

26年度の課題は、投資予算が大きな課題です。合併特例債の期限が31年度末までであと6年となり、投資案件は、計画、設計・建設完了までの時間を考慮すれば、今年度の計画策定が今後10年、20年の街づくりの方向性を決めるといっても過言ではありません。

また、我々議員が意思決定をするのに大切なのは、感覚論・感情論ではなく、論理的にリーズナブルな判断をすることだと思っています。今号では、私の2～3月議会の模様を中心に活動および考え方の一部を紹介致します。

平成26年第6回 定例会 報告

■ 総括質問

『市庁舎および公共施設マネジメントについて問う』

質問

合併特例債の期限が、31年度末までとなり、市庁舎整備に関する決定には時間がない。一方で公共施設マネジメント計画策定は、26年度から28年度の2年間となっている。公共施設マネジメントの結果を待っている、市庁舎整備が間に合わないが、それについて聞く。また、施政方針に庁舎整備計画を「外部有識者で検討」とあるが、我が町の庁舎の課題を外部で検討するということには納得ができない。我が町の人で決めるべき課題であるかどうか？

回答

市庁舎の整備については、公共施設マネジメントとは切り離し、12月までに結論をだす。また、市庁舎整備計画を外部有識者で検討とは、市役所の職員以外を外部有識者と表現した。我が町の人で決めるのに間違いはない。

総括

明確に12月末までの結論をだすとの回答を得ました。従前から市民を二分した課題であり、議会へは、速めに案を提示するように要望しました。私は、議会への提案が遅れることによって時間がないから承認してくれということにならないか危惧しています。整備方針の外部有識者検討との言及について、市職員以外を外部有識者と表現したと苦しい弁解にも聞こえますが、明確に「我が町の人」といったのでこれ以上の追及はしませんでした。市長は、以前から自分の考えを述べず、コンサル・外部有識者で検討と言われるので、そこに不満を持っています。トップにはビジョンを語っていただくのが役目だと思います。

『元気な三原』、『地域活性化』、『行財政改革』とは何か？

質問

「元気な三原」、「地域活性化」の定義について聞く。市長は、キャッチフレーズはクリアだが中身がわからない。目標設定がなく、具体的施策も少なく一貫性がない。何をやりたいのか。スローガンだけでは、達成か未達成かが計れず空虚である。何を目標にして、何の施策を実行して、何を達成するのか。広く市民に提示していただきたい。

行財政改革についても聞く。昨年度より予算が減っていると胸を張られているが、実際は投資的予算が減っているだけである。合併特例債の期限を勘案すれば、投資をやるなら今だと思う。投資を先送りすることは、機会損失が発生する。建設の人件費・資材費はどんどん高騰している。また、合併特例債は、国が約67%を負担してくれる財源である。意思決定のスピード化が行財政改革だと思わないか。





回答 目標設定について、観光戦略のみ認知度31.9%→40%という数値がある。「中心市街地活性化」、「中山間地活性化」、「産業の活性化」、「福祉の向上」などについて、可能な限り数値目標化していく。現在、長期総合計画の策定中であり、そのなかに盛り込んでいく。

行財政改革に在り方については、指摘のとおり。スピード感が大切であることは間違いない。今後はまちづくり戦略検討会議で事業仕分けの手法について、検討していく。



総括 私は、元気な三原、地域活性化は人口増だと定義しています。そのために必要なものを整理し、目標および施策を考えれば、やらなくてはならないことが見えてくると思います。単発で施策をやりましたというよりは、三原全体の活性化の全貌について見せていただきたい。また、速やかに市庁舎の課題を含むまちづくりについて、まとめて実行に移して行ってほしい、計画に2年とか悠長な事を言っていると都市間競争に負け、どんどん近隣都市との差は広がるばかりであると強く念を押しておきました。今後も様々な側面から同様なことを言い続けていきます。

また、コラムで庁舎分散の弊害について書きます。施策を先送りすることによるロスを試算しています。

『このままでいいのか？産婦人科医療の体制整備！』

質問 26度予算で約580万円の予算が、産婦人科医療体制整備のためのお金が尾道総合病院に計上されている。これは、ハイリスク分娩の受け入れの体制整備のために必要な予算であると思うが、三原市の産婦人科医療体制の10年後、20年後を考えた場合、医師確保のための独自の施策が検討できないか。

回答 三原市としても課題認識は同じであり、今後とも県との連携を強化する。また、一つの試みとして、医師会、医療機関、行政、市民の意見交換の場を設け、三原市の産婦人科医療のあり方について検討する。

総括 本件については、ほんのちょっとですが前進しました。一般質問をしたのは2回目ですが、市民を巻き込んだ検討会議の設置が決まりました。議論の行方を見守るとともに、私自身も医療の現場の声を聞いて、担当部門に報告するとともに自分の意見も発信したいと思います。また、ブログでもレポートします。まずは、研修医と呼ばれる若い人たちの話を聞く予定にしています。

■ 予算委員会

概要

3月11日から17日の5日間、議員全員による予算委員会を開催し、一般会計予算など、23会計予算及び関連議案11件について、慎重な議論が展開されました。一般会計の予算は430億6,400万円(前年比▲2.6%)特別・企業会計341億0,290千万、合計771億6,690千万円です。

全体の模様は、市議会の発行の「議会だより」をご参照ください。私が原稿の原案全体および修正原稿の一部を執筆しています。以下は、私の質問等一部抜粋です。

『地域支援員とは？その役割は？』

質問 ①地域支援員の役割と以前取り下げとなった「公募による支所長登用」との違いは何か。
②本郷・久井・大和の各1名の配置となっているが、別の地域例えば、木原・幸崎などの配置はないのか？また本郷は1名でよいのか。

回答 ①支所長との違いは、常勤ではなく非常勤。地域の声を聞くということは同じだが、市役所のライン職ではなく、住民支援・活性化に寄与する存在である。
②別地域の配置については、本郷・久井・大和の状況を見て検討する。

総括 以前に取り下げとなった議案の「公募による支所長登用」は、常勤であり、市役所のライン管理職として採用するもので、市長選挙後の任命する人ありきの疑念が払拭できず、反対をした。しかし、今回の地域支援員については、地域の問題を解決する、現場寄りかつ住民の側で働く人員である。雇用のコストも3分の1以下であり、国からの支援も得られることから様子を見守るべきと判断した。いいものであれば、他地域の設置を求めていく。

『三原城跡に桜の木を？三原城築城450年のコースに？』

質問 ①三原城跡に桜を植えてはどうか。
②三原城跡から桜山にかけて、三原城築城450年祭の観光コースにしてはどうか。
③旧武道館跡地(緑が丘跡地)に桜山登山者むけの駐車場を設置していただきたい。
④三原城跡公園の検討委員会に本郷・館町の町内会およびNPO法人うきしろ桜山会を加えていただきたい。

回答 いずれも前向きに検討する。

総括 今後、協議に協力していくとともに植樹・清掃活動、イベントなどを通して桜山を含めた三原城跡周辺の地域活性化・啓発活動に寄与していきたいと思っております。





■ 個人活動

『桜山を桜でいっぱいにしませんか?』

三原浮城ライオンズクラブさんが長年手がけられてきた桜山の植樹・清掃活動に参加させていただきました。桜山は、三原小学校、三原附属小学校出身者や館町、港町、城町、東町、本町在住の方々には強い思いを持っている方が多いのではないかと思います。現在、「NPO法人うきしろ桜山会」に引き続き、植樹・清掃活動を行っています。私はその会員となって活動をしています。会員も順次募集しております。桜山のお近くの方にはお声かけさせていただくかもしれません。よろしければご協力をお願いします。



『自転車!』

最近、まちの移動に自転車を使っています。サイクリングでは、仲間には迷惑をかけていますが、運動不足解消およびダイエットのため、徐々に距離を伸ばしていきたいと思います。写真は自慢の私の自転車です。金色のドリンクホルダーがアクセントです。まちで見かけたら声をかけてください。



『おひなまつりでは我が家の資産が...』

観光協会を中心に実施されたひなまつりにおいて、我が家の古い資産を活用していただきました。価値があるかどうかは不明ですが以下の屏風です。

「おひなまつり」は、大変よいイベントでした。ご尽力いただいた関係者、ご来場くださった皆様ありがとうございました。本町山脇邸は、まちづくりのシンボルとして再生にむけて地域の皆様やまちづくりに携わる関係者とともに様々な検討をしています。



『桜の風景』

御調八幡宮の桜は最高でした。桜山への示唆もたくさんありました。



『要望活動・視察』

再び国会へ要望活動に行ってきました。特に産科婦人科医療の充実について強く要望してきました。前回の要望とほぼ同じ内容ですが、現状について詳しくお話させていただきました。要望活動は、継続することが大事で、引き続きお願いをしていきたいと思っています。

訪問先：溝手先生、宮澤先生、寺田先生、小島先生、中川先生

1. 産婦人科医療の充実について
2. 木原道路の事業促進について
3. 県道三原本郷線の整備促進について
4. 県道三原東城線の早期着工について
5. 県道下徳良本郷線の道路改良
6. 国道486号線の交通安全施設(歩道整備)
7. 広島中央フライトロード(主要本郷大和線)延伸部の早期事業着手

■ コラム

『庁舎整備の課題について』

まずは、庁舎分散によるコストロスについて試算します。この試算の意図は、分散庁舎が解消しない場合の想定です。支所は必要な機能ですので試算に含んでおりません。あくまでも本庁機能の分散についてです。現在、本庁舎機能は、数か所に分散しており、会議・議会・審議会等があれば職員は歩いて、本庁舎へ来る。

◎仮定を以下のようにおく。

- ① 移動を1人当たり5分とする。
- ② 延べ100人(50人が往復)とする。
- ③ 勤務日が月20日と仮定する。
- ④ 残業代が増える仮定し、1時間単価を2000円とする。

年間損失額 = 5分 × 100人 × 20日 × 12か月 × 2000円 ÷ 60 = 400万円

市庁舎の課題について、意思決定を先延ばしにすれば、年400万円の損失が発生します。すでに多くの損失が発生しているとも言えます。

競争環境において民間では意思決定のスピードが勝負のポイントになることはいうまでもありません。行政も同じです。市長は民間目線と言われたと思います。

つづいて、この課題について、過去の経緯を振り返ると議会で、老朽化および分散庁舎の解消のための建て替えの方針が決定しております。駅前東館への移転は議会で否決されています。従って修繕と駅前東館への移転を検討するのが時間の無駄という意見もあります。しかし、私の考えは、庁舎整備に関して、情報が正しく市民の皆様へ提示されておらず、現状では、庁舎および駅前東館へ建てられる官民複合の施設が、2つが市の負担で建設される方向になるので、その部分を財政状況も含めて再度議論にのせるべきだと断言しています。

私の今の考えは、駅前東館への官民複合施設の中および駅前西館に庁舎機能を移転することが、財政面、活性化の側面からベターな選択ではないかと考えています。

■ 6月議会の予定等

日	時間	会議
3日	10時	委員長会議
	11時	議会運営委員会
9日	10時	本会議
		議会運営委員会
11日～13日	10時	一般質問(但し、13日は予備日)
16日	10時	総務財務委員会
17日	10時	福祉文教委員会
18日	10時	生活経済委員会
19日	10時	建設都市委員会
20日	10時	補正予算特別委員会
24日	13時	議会運営委員会
	14時	本会議

※予定は変更になる場合があります。いずれも傍聴可能です。

6月議会の前に、市庁舎の耐震診断結果および駅前東館の答申の説明があります。今年度の一番の課題であり今後の議論の行方に注目です。私は、論理的かつリーズナブルな判断になるよう厳しい目線で望みます。

■ 編集後記

今回で4回目の議会が終わりました。議会レポートの内容も少し変えてみました。なかなか読みづらい部分もあるかもしれませんが、改善を心がけていきたいと思っています。ご意見、ご指摘等いただければと思います。26年度は、議員2年目となります。2年目は指摘や思い伝えるだけでなく、小さな事でも変革・実現できるようにソフトに粘り強くいきたいと思っています。

正田 洋一

正田洋一事務所

お気軽にお問い合わせください。

〒723-0062 三原市本町 2-11-12

e-mail info@shoda-yoichi.jp

TEL/FAX 0848-63-0085

携帯 090-6001-0100

honesty

truth

fellowship

future

go ahead

kindness

honesty

truth